

## 英語活動指導案

指導者 HRT 高見澤 成美  
ALT Sturgeon Jason Dean

### 1 題材名 「気持ちや体の調子は？」

#### 2 題材について

##### (1) 本時に関わる英語活動

これまで「気持ちや体の調子」については、『How are you?』の歌を通して『hungry, tired, sad, cold, happy, good, great, ok』の単語に親しんできた。これは、前学年までの英語活動であいさつとしても使っている表現である。また、前学年から引き続き、朝の会の健康観察の場面では、子どもたち同士『How are you?』『I'm good.』『I'm tired.』を使って簡単に朝の調子を伝えることができている。

##### (2) 題材の特徴

本時はこれまでの「気持ちや体の調子」を表す言い方を復習しながら、「気持ちや体の調子」の言い方に幅を持たせ、朝の健康観察を、より自分の状態に近い表現にさせたいと思い設定した。

5年生で『headache, stomachache, pain』といった具体的な表現に触れる計画である。その前段階として、『sleepy, so-so, angry, bad』を取り入れる。『How are you?』は今まで通りの表現だが、新しく触れる単語については、ジェスチャーや絵などで視覚から捉えることができるように配慮し、また音声を重視して提示したい。

##### (3) 場の設定、活動内容の工夫

ALT との TT の指導であるので、子どもたちには ALT の発音や表情などに注目させ、ネイティブスピーカーの英語にたくさん触れさせたいと考える。もっと知りたいことがあれば、その場で聞くことができるように、any questions の時間も設定する。

また、ジェスチャーと単語とを結びつけて捉えることができるよう工夫したり、指導過程に子どもたち同士が会話する場面をより多く設定したりする。

### 3 児童の実態

#### (1) 学校生活全般に関わって

本学級の子どもたちは、活発で積極的に取り組み発言する子どもと、その様子を見ながら一歩後からついて行くような子どもに分けられる。前者は男子に多く、後者は女子に多くみられる。全体的には素直で元気がいいので、意欲的に活動に取り組んでいる。しかし、会話においては自分の考えを伝えることはできるが、相手の気持ちや様子を聞き返すことは、まだ十分でない子どももみられる。

#### (2) 英語活動の意識調査に関わって

学年当初に行った英語活動に関する実態調査では、英語活動が「好き」「どちらかというと好き」という児童はほぼ10割で、その主な理由としては、「ゲームが楽しい」「歌が楽しい」と答えている。ゲームや歌も具体的な名前を挙げて答えている児童が多い。「外国の人と会ったら話せそう」「数字や果物の名前がいった」「ほめられた」ことが理由になっている。調査から、これまで楽しく英語活動に取り組んできたことがうかがえる。

#### (3) 英語活動全般に関わって

英語活動の時間は、他の学習の時間とは少し違った様子がみられる。それは、多くの子どもたちが積極的

に取り組んでいることである。歌を歌ったり、ゲーム的な要素が入ったりすることに加え、ALT が毎回楽しくできる工夫をしてくれることもその要因と思われる。しかし、一人で言ってみようという場面では緊張が高まり、堅くなってしまいう子どもが多くみられる。このため、たとえ間違っても安心して表現できる雰囲気作りにつとめていきたい。

英語活動全体を通して、言葉での会話を大事にしながら、言葉以外の表情やジェスチャーで友だちとやりとりする良さや楽しさを体験させたい。また、友だちとのやりとりを通して、相手を意識しお互いを思いやることができるような子どもに育てて欲しいと願っている。

#### 4 本時の学習

(1) 日時： 平成20年6月27日(金) 5校時(13:30~14:15)

(2) 場所： 北杜市立高根西小学校 3年教室

(3) ねらい： 気分や体の調子を表す言葉を知り、ゲームなどの活動を通して友達との会話に親しむ。

(4) 言語材料： How are you?

I'm ~.(happy, great, good, OK, hungry, tired, sad, cold)

sleepy, so-so, angry, bad

#### (5) 展開

時間	子どもの活動	HRT の支援	ALT の支援	教材・教具
1	1 あいさつをする。	HRT: Let's begin! S : OK!		
2	2 「How are you?」を歌う。	○気分を表す動作もつけて歌う。	○一緒に歌う。	CD ラジカセ
3	3 口の体操をして楽しむ。	○ ALT の指導で児童の間に入って一緒に体操する。 ☆雰囲気を和ませる。	○顔の表情に注目させ雰囲気作りをする。	
5	4 「How are you?」に出てくる調子や気分を表す言葉で復習する。 (happy, great, good, OK, hungry, tired, sad, cold)	○ジェスチャーしながら言う。 ★元気よく声に出しているか。	○調子や気分を表す単語の発音をする。	調子や気分を表す絵カード
10	5 調子や気分を表す新しい単語を知る。	HRT: Please listen to us. HRT: Hello, Mr. Jason. ALT: Hello, Mrs.Takamizawa. How are you? HRT: I'm(ジェスチャー). こんな時なんて言うの (子どもたちに聞く)		

	<p>・聞く側と答える側に分かれて新しい単語を使って会話する。</p>	<p>HRT: 他にも, こんな時なんて言うのか教えてほしいんだけど</p> <p>○ ALT と共にジェスチャーしながら伝える。</p> <p>○全体・列などに分けて聞く側答える側の両方を経験できるように進める。</p> <p>・ALT と全体 ・全体を二つに分けて ・列ごと</p>	<p>ALT: I'm(ジェスチャー). sleepy. って言うんだよ。</p> <p>ALT: OK!</p> <p>○絵カードを示し, ゆっくり発音する。</p> <p>○デモンストレーションする。</p>	<p>調子や気分を表す絵カード</p>
<p>3</p>	<p>6 &lt; any questions &gt; 楽しい・つらい・さびしい・病気だ・頭が痛い・おなか が痛い・など</p>	<p>○調子や気分を表す言葉で知りたいことはないか聞く。</p> <p>☆質問が出ないときは, 朝の健康観察の様子を例に挙げるなどして, 子どもたちから質問が出やすい雰囲気にする。</p>	<p>○児童の質問に答える。</p>	
<p>15</p>	<p>7 Match the game をする。 (ルール)</p> <p>①絵カードは班毎に箱に入れて置く。</p> <p>②班の箱にカードを取りに行く。</p> <p>③自由に歩いて相手を探す。</p> <p>④音楽が止まったときに, 出会った相手お互いに「How are you?」と聞く。</p> <p>⑤「One two !」で持っているカードに描かれているジェスチャーをしながら「I'm ○○」と言う。</p> <p>⑥カードを出して, 確認する。</p> <p>⑦相手と同じになったカードは, 真ん中にある箱に入れる。違っていたカードは, 班のカード入れに戻す。</p> <p>⑧時間まで繰り返し, 班毎に残ったカードが少ない班の勝ち。</p>	<p>○ ALT とデモンストレーションする。</p> <p>HRT: Hi! Mr. Jason. ALT: Hi! Mrs. Takamizawa.</p> <p>HRT: How are you? ALT: How are you? ALT, HRT : One, two!</p> <p>HRT: I'm bad. (ジェスチャー) ALT: I'm bad. (ジェスチャー)</p> <p>HRT, ALT: Oh! Same card! HRT, ALT: Yeah!</p> <p>○説明を補う。</p> <p>☆相手を探せない子どもや, スムーズに会話ができていない子どもに声かけをする。</p> <p>★ジェスチャーしながら会話しているか。</p> <p>★進んでゲームに参加している</p>	<p>○ゲームをデモンストレーションする。</p> <p>○子どもたちと一緒にゲームをする。</p>	<p>児童用絵カード CD, ラジカセ カード 入れ</p>

1	8	活動を振り返る。	か。 ○2～3人に「How are you?」 と聞き、「I'm ○○.」で答えさ せる。	
4	9	振り返りカードを書く。	○今日の活動を振り返って記入 させる。 ☆記入の様子をみながら、これ からの生活に生かしていこう とする内容のものは、紹介す る。	振り返 りカー ド えんぴ つ
1	10	あいさつをする。		
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 0 auto;"> <p>HRT: Let's finish S: OK!</p> </div>				

★観察ポイント ☆支援のポイント

## 5 成果と課題

・日本語をかなり理解できる ALT だから助けられた部分大きい。

ALT とは、事前に 2 時間授業をしておいたので、子ども達もうち解けて、楽しく本時の授業ができた。打ち合わせの時間はもちろん必要であるが、ALT がメインに進めるところや、補助するところを理解して関わってくれたので担任としては、進めやすかった。ロールプレイや、ゲームのデモンストレーションなどにも、ALT と二人ですること自然な流れを作ることができることがわかった。ALT HLT のそれぞれの役割を考えて分担したい。その ALT にしかできないこともあるので打ち合わせの時間を利用していきたい。

・集中して何度も言葉や、文に触れさせ口にするために、ゲームは有効であることがわかった。だからこそ、質のいいゲームのレパートリーを多く持って子ども達にも親しませておきたい。また単純化されたルールでわかりやすいことも大事なことである。しかしゲームが楽しく盛り上がると、本来の目的がおろそかになりがちなので気を付けたい。

ゲームの後の展開 8 を取り入れたので、自分の調子の表現ができ、個に返す流れにすることができたことも良かった。

・言葉はもちろんコミュニケーション手段として大事にしなくては行けないが、豊かな表現力の一つとしてジェスチャーは日常的に取り入れていることは必要ではないかと感じた。

以下は公開研究発表時の指導主事のコメントより

・ALT を加えた TT であっても、担任がいつも主導的に授業を進めていて、日常の学級集団の延長上に英語活動があっいつもの仲間達との雰囲気継続してできるようにしてあることが良かった。

・あいさつ → 歌 → 口の体操 → 復習 → 主題の活動といった活動の流れが確定されていて、活動の先が子ども達に見えていて、安心して学ぶことができる。

・新しい課題に対しても、意欲的に学ぶように、動作活動やグループ活動が効果的に工夫されていた。



cold



good



great



sleepy



bad



angry

## 児童の感想

- ・ゲームがとても楽しかった。33人／34人 (カードを選んで移動して、友達に会うのが楽しかった)  
(1位になれて楽しかった。)
  - ・とても意欲的に活動できた。32人／34人
- 感想・質問
- ・つまらない気分ってなんて言うのか知りたい

## 活動中の様子



今の気分は？



元気よく歌おう！！



どの気分のカードかな??

## 第3年 英語活動案

授業者 HRT 高見澤 成美  
ALT Tegan

1 題材名：動物の言い方になれよう。

2 場の設定 活動内容の工夫

- ・絵本の読み聞かせで 楽しく動物名を知る。
- ・ジェスチャーを交えたゲームで動物名に親しむ。

3 本時の学習

- (1) 日 時： 平成20年 11月17日 (月) 5校時 (13:50~14:35)  
 (2) 場 所： 北杜市立 高根西小学校 3年教室  
 (3) ねらい： ジェスチャーやゲームを通して楽しみながら動物の言い方に慣れる。  
 (4) 言語材料： penguin giraffe buffalo monkey seal  
 gorilla cat crocodile camel donkey elephant

(5) 展 開：

時 間	子どもの活動	HRTの支援	ALTの支援	備 考
1	1 あいさつをする	☆元気よくあいさつするように声をかける		
2	2Head,shoulder,Knees,and Toes の歌を歌う。	○動作もつけて歌う。	○一緒に歌う。	CD
7	3 「From Head to Toe」の読み聞かせを聞く。	○登場するものや、わかる単語に注意して聞かせる。 ○ALTが動作を付けて読めるようにHRTがカードをめくる。	○「From Head to Toe」をゆっくり読む。 ○動作を付けて読む。	絵本 From Head to toe
5	4 登場するものや、わかった単語などを発表する。	★絵本を聞いて知っている動物名が見つけれられたか。		
5	5 動物の単語、動作の言葉を発音する。	○ALTの後について繰り返させる ★元気よくジェスチャーをいれながら、単語を発音しようとしているか。	○カードを使って発音の模範を示す ○ゆっくり模範を示し、繰り返させる	掲示用 動物カード
15	6 アニマルバスケットをする。 ・動物の名前を言いなが	○ゲームの説明をする ☆実際にやってみせる。 ・最初はオニになりゲームをリードする。	☆実際にやってみせる	児童用カ



	<p>らその動物が絵本でしていた動作をする。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>拍手 = seal 胸をたたく = gorilla 腕を波打たせる = monkey など</li> <li>言われたカードを持っている子供は席を移動する。</li> </ul>	<p>使用する動物 あしか ゴリラ ゾウ さる キリン</p> <p>○他の動物名について質問はないか聞く。</p>	<p>○質問に答える</p>	ード
7	<p>7 any questions?</p>	<p>○児童と一緒に動作をしたり 「I can do it!」を声に出して言う。</p>	<p>○読み聞かせをする。</p>	
8	<p>8 読み聞かせを聞きながら動作をし、繰り返して出てくる「I can do it!」は言える人は言う。</p>			
9	<p>9 ふり返りカードを記入する。</p>			
10	<p>10 あいさつ</p>			

★ 観察ポイント

☆支援ポイント

